

新年のごあいさつ

理事長職務執行者
理事

富岡 清(熊谷市長)



明けましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、お気持ちも新たに平成26年の晴れやかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、平素より共済組合の事業運営にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

私は、岡村前理事長(川口市長)の議員退任に伴い、去る12月1日に理事長職務執行者に就任をいたしました。

共済制度を取り巻く環境は、大変厳しい状況ではございますが、その職責を果たして参る所存でございますので、よろしく願いいたします。

昨年、全国各地に甚大な被害を与えた自然災害については、本県においても、竜巻・突風被害などの発生により、大きな傷跡を残し、被災された方々には、改めて、お見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

さて、我が国においては、少子化と高齢化が同時に進行している状況の中、昨年8月6日に社会保障制度改革国民会議の報告書がとりまとめられ、同月21日には報告書に基づき、社会保障制度改革の推進に関する骨子が閣議決定され、社会保障制度改革が再び動き始めました。

医療保険制度におきましては、社会保障制度改革の進め方を示したプログラム法案により、平成26年から平成29年までに医療制度改革を進めることとしており、平成27年度には、後期高齢者支援金の負担方法を

全面総報酬割に見直される予定のため、本組合の短期財政に大きな影響を与えている高齢者医療制度への拠出金等の負担が更に増加することが危惧されます。

一方、年金制度におきましては、「被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金等の一部を改正する法律」が平成24年8月に成立・公布されたことにより、平成27年10月に被用者年金制度が一元化されることになり、共済年金独自の職域年金部分が廃止され、新たに年金払い退職給付が創設されることになりました。

このように、社会保障制度全般において、大きな変革期を迎えるにあたり、その動向については、今後も注視して参りたいと考えております。

次に本組合を取り巻く状況でございますが、組合員数の減少と給与抑制による掛金・負担金の減少傾向は未だ続いており、更に昨年は国による給与減額措置要請の影響もあり、今後の予算編成において、大きな影響を与えることが見込まれますが、共済懇談会において、聴取させていただいた多数のご意見・ご要望も踏まえながら、組合員とご家族の生活の安定と福祉の向上に寄与出来るよう、組合会議員一同、最善の努力をいたす所存でございますので、これまで同様、皆様方の深いご理解とお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

結びに、各自治体のご発展と組合員皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



謹んで
新春のお慶びを
申し上げます。

「市町村長側議員」

理事 富岡 清(熊谷市長)

(理事長職務執行者)

理事 原口和久(鴻巣市長)

監事 田中暄二(久喜市長)

加藤嘉郎(横瀬町長)

大橋良一(加須市長)

仲川幸成(狭山市長)

神保国男(戸田市長)

高田康男(川島町長)

石津賢治(北本市長)

〔職員側議員〕

理事 持田明彦(小川町)

理事 島田友光(鴻巣市)

理事 田中廣美(所沢市)

監事 國分政義(さいたま市)

松本貢一(新座市)

中村篤志(東松山市)

前林兼二(熊谷市)

金田敬司(越谷市)

高橋恵子(八潮市)

田村伊佐雄(川口市)

寺山昌文

学識経験監事 関谷泰弘

事務局長 外職員一同